

すみよし

第 65 号

発行所 社会福祉法人 一寿会
仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6
電話 022-379-8030
発行者 理事長 関野 愉

- 住吉台こども園
仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-0164
- 仙萩苑(障害者支援施設)
仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-8030
- 一寿園(就労継続支援B型事業)
仙台市太白区富田字南ノ西26番地 TEL(022)243-3447
- 長命ヶ丘つくしこども園
仙台市泉区長命ヶ丘三丁目20番10 TEL(022)772-0035
- 名取みたぞのこども園
名取市美田園五丁目3番地5 TEL(022)784-1020
- 名取あけぼのこども園
名取市増田六丁目1番40号 TEL(022)382-2711

印刷 令和5年10月27日
発行 令和5年10月31日



■住吉台こども園 (p2~p3)

■住吉台こども園 (p2~p3)

- ・親子遠足
- ・ハッピーデー「ヨガ」
- ・まなびタイム



■長命ヶ丘つくしこども園

(p3~p4)

- ・プール開き誕生会
- ・とうもろこしの皮むき



■名取みたぞのこども園

(p4~p5)

- ・夏祭り
- ・野菜の収穫



■名取あけぼのこども園

(p5~p6)

- ・科学教室
- ・日中活動「プール」
- ・お泊り保育



■仙萩苑

(p7)

- ・夏祭り



■一寿園

(p8)

- ・木工「卒園アルバム紹介①」





六月十五日に親子遠足がありました。当日の天気はあいにくの雨でした。子どもたちは保護者の方と一緒に元気いっぱいに登園してきてくれました。バスの中では、うみの杜水族館でどんな生き物がいるのかクイズをしたり、お話を弾み楽しみで仕方がない様子でした。バスを降りて、まずは記念撮影。それから館内に入り、イルカの水をかけられると、子どもたちは歓声を上げて大喜びでした。その後、親

親子遠足



子でゆったりと見学して楽しみました。「ベンギンさんいたよー！」

「クラゲさんきれいだった！」「チノアナゴいたー！」等、ワクワクしながら

お家の方やお友だちと一緒に手を繋いで楽しそうに散策していました。たっぷりと親子の時間を楽しんだ後は、こども園に戻り園内でお弁当を食べました。お家の方が作ってくれたお弁当を、お家の方やお友だちと一緒に手を繋いで楽ししました。心を楽しく弾ませたり、ゆったりと気持ちを落ちつかせたり、集中させたりする力があります。子どもたちは初めての「ヨガ」

の影響で四年振りの親子遠足でしたが、お家の方と一緒に過ごす子どもたちの嬉しそうな笑顔をたくさん見ることができ、本当に良かったと思いました。来年もまた楽しみです。

(保育教諭 横山 純子)

六月二十日に三歳以上児ハッピーで「ヨガ」を行いました。ヨガは体だけではなく、心もほぐして強くしてくれる効果があります。また、音楽に合わせて行うこと、心を楽しく弾ませたり、ゆったりと気持ちを落ちつかせたり、集中させたりする力があります。子どもたちは初めての「ヨガ」に興味津々♪「ヨガってなに?」「樂しみだね!」と期待を持って参加する姿が見られ、保育教諭の体の動きをよく見て、真似をして体を動かしていました。「巻きすしころころ」「ひっぱりっこ」というヨガでは、お友だちと二人一組になり、手足をマッサージしたり、伸ばしたりして体をほぐしました。「わたしは木」「かにかにさんぽ」というヨガでは、片足立ちをしたり、バランスを取りながら、足腰の力を鍛えました。子どもたちは、音楽に合わせて体を十分に動かし、笑いながら、楽しく取り組んでいました。最後は、パネルシアター「こぶたのぼんくん」を見て、大爆笑!!お部屋に戻ってからも「木のポーズ!」と言つて片足立ちをして見せてくれたり「楽しかったね!」とお友だちと話をする姿が見られ、心でも

ハッピートーナメントヨガ



体でも楽しみ、リラックスしたハッピーになりました。

(保育教諭 熊谷咲季)

七月二十日に学研の「まなびタイム」が行われました。文字や数字に興味津々の子どもたちは、どんなことをするのかと期待を持って参加する姿が見られました。初めに「わ」「を」「ん」の付く言葉は何かを考えました。先生

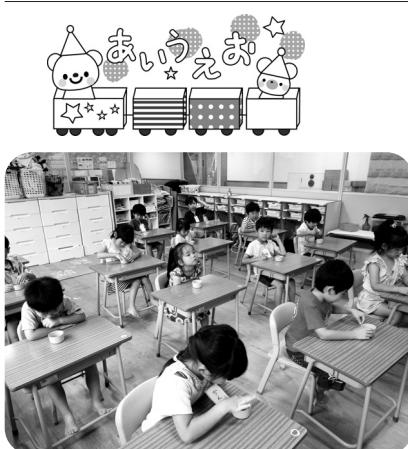
に「わの付く言葉は何でしょう?」と質問されると「わに」「わんこ」「ワッフル」「わたあめ」「ワイン」など意欲的に発言していた子どもたち。「を」が初めに付く言葉はなく、ご飯「を」食べるなど「を」は言葉と言葉を繋ぐ時に使うということを学びました。

「ん」も最初に付く言葉はなく「にんじん」「きりん」「しんかんせん」など言葉の最後に使うことに気付きました。数遊びでは、おはじきが十個入る棒を使い、先生が出した数のおはじきを棒の中に入れました。子どもたちはよく考えながら、集中して取り組んでいました。最後に、ペーパーワークを行いました。鉛筆の持ち方を確認し、先生のお手本を見て丁寧に文字を書き、花丸をもううと満足そうな表情をしていました。まなびタイムを通して、読める文字や書ける文字が増えてきて、



自信がついています。今後も、まなびタイムの取り組みの中で、楽しみながら、文字や数への関心を高めてほしいと思います。

(保育教諭 佐々木 愛香)



六月二十九日、ホールでプール開き誕生会が行われました。コロナウイルス感染症が五類に引き下げられてから二回目の全園児合同での誕生会を行うことができ、賑やかな会となりました。初めは誕生児のお友だちがインタビューや答えたり、誕生日の歌でお祝いしてもらいました。誕生カードをお友だちからプレゼントしてもらうと、ニコニコ笑顔で喜んでいました。先生たちからのお楽しみでは、プールに入る時のお約束や遊び方をバイキンマンと一緒にクイズ形式で確認しました。大きいクラスのお友だちは、バイキンマンがプールに飛び込むと「ダメだよ!」「怪我しちゃう!」と危険を知らせてくれました。小さいクラスのお友だちもかつこよくお話を聞いてくれました。誕生会当日にプールには入れませんでしたが、後日クラスごとに水遊びを行いました。0歳児はテラスでタライを使って水遊びを行い、初めてドキドキしながら水に触っていました。まなびタイムを通して、



長命ヶ丘つむじこども園



触れることを楽しんでいました。大きいクラスと二歳児は園の一階にある大きいプールでクラスごとに水遊びを行いました。これからもたくさん水遊びを行いたいです。(保育教諭 坂本 実優)

ヒーモスマーの皮むき



い、茶色のひげは一本一本が黄色い実に繋がっていることなどを教えてもうと興味を持ち、真剣に話を聞いていました。また、美味しいとうもろこしの選び方にについて話をしてもうと「今度ママと一緒に選んでみるね」という声も聞こえました。いよいよとうもろこしの登場。一本ずつ手渡されると、匂いを嗅いだり、ひげを触ったりして「やわらかいね」「茶色だから美味しいとうもろこしだね」と早速教えてもらったことを実際に感じ取ってい

ことに気付き「中は簡単にむけるね」と、とうもろこしについてたくさんの気付きがありました。「今度はママのお手伝いでむいてみる」と意欲的な発言も。「一人一本ずつむいたとうもろこしは調理室にお願いし、全クラスの午後のおやつのコーランスープになりました。自分たちで皮をむいたとうもろこしで作ったスープは、いつもよりもおいしかったようで「おかわり」の声がたくさん聞こえていました。

七月二十六日に、四歳児ぞう組の食育活動として、とうもろこしの皮むきをしました。前日に活動について話をしていたこともあり、登園していくと「早くむきたいね」「何本むくのかな」となどと楽しみにする様子が見られました。活動では初めに栄養士からとうもろこしに関するクイズを出してもらいました。

る様子でした。一枚目の皮は少し硬く

夏祭り



名取みたむれ(ノ)モ園

七月一日、夏祭りを行いました。天気はあいにくの雨となり、三歳未満児・三歳以上児は一部制にし、ホールでの開催となりました。新型コロナウイルス感染症が五類となつて初めての保護者を迎えての行事開催とのこともあります。親子で楽しむ姿を見ることができました。三歳未満児クラスでは、可愛いい法被姿の子どもたちが家族の方とホールを練り歩き、夏祭りが始まりました。うちわ作り、アンパンマンキャラクターのボール入れ、水ヨーヨー、

あつという間に楽しい時間が過ぎていきました。三歳以上児クラスは、各クラスお神輿を担ぎ「わっしょい」と元気な掛け声がホールやクラスに響き渡りました。三・四歳児はディズニーの「爽涼鼓舞」を踊り、可愛い姿を見せてくれました。五歳児はソーラン節を踊り「どっこいしょ、どっこいしょ」と大迫力の踊りを見せてくれました。各コーナー遊びでは、扇子作り、ジャンボ輪投げ、水ヨーヨー、職員の見るコーナーを親子だけではなく、友だち同士で誘い合いながら楽しんでいました。今後も、親子参加の行事を通して、保護者の方々に子どもたちの成長した姿を見ていただき、共に喜び合える保育をしていきたいと思います。



(保育教諭) 長谷川 美樹

野菜の収穫



七月十八日に三歳児クラスで、畑で育てたナスの収穫を行いました。ナスの苗を植えた後から、戸外に出た際にお友だちと水やりをしたり、保育教諭と一緒に観察をしたりして、ナスの生長を見守っていた子どもたち。毎日少しずつ伸びていく苗、大きくなっているナスの実を見て、子どもたちの方から「大きくなっているね」等と気付きを言葉で伝えてくれたり「大きくなれ」「早く食べたいな」と話したりと収穫の日を心待ちにしていました。収穫当日、戸外で遊んでいると「見て！ナスが大きくなっているよ！」と嬉しそうに伝えてくれる姿があり、その後全員でナスの収穫を行いました。茎が固く、保育教諭と一緒にハサミを使って収穫をしました。収穫したナスが給食の味噌汁に出てくると、普段野菜が苦手な子も「ナス食べられたよ」「みんなで育てたナス美味しいね」と笑顔で食べる姿が見られました。今後も子どもたちと一緒にナスの生長を見守り、食への興味や喜びへと繋げていきたいと思います。

(保育教諭 星 琳佳)

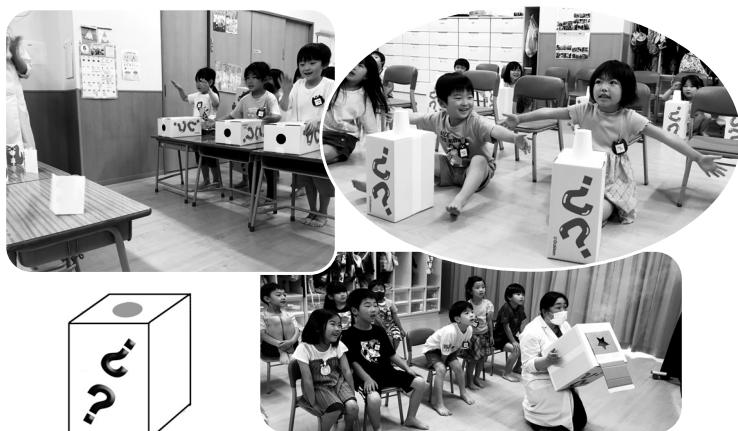


名取あけぼのこども園

科学教室



六月六日に今年度初めての科学教室に参加しました。昨年度に二回体験したこともあり「次の科学教室は何するのかな？」と期待して待っていた子どもたちです。講師の先生が来園すると「おはよう。待ってたよ」と元気に挨拶をする可愛い姿がありました。今回は空氣砲という教材を使用して「空氣」をテーマに実験をしました。空氣砲の中に煙を入れて空氣を出して、出てきた空氣がどんな形になっているのかみんなで観察しました。年長児になり、様々な経験から「バナナみたいなかじやない?」「形なくなるのかな?」と友だちと一緒に自分で考えて意見を言い合う姿が見られました。実際に講師にやって見せてもらうと、ドーナツの形に見えて、子どもたちは大喜びでした。また、空氣砲の上にティッシュペーパーを置いて叩くとどのように飛ぶか質問されると「横かな?・上かな?」と予測して、実際に見てみると空氣砲に吸い込まれるように入っていく様子を見て「え、なんで?」「すごい」と思いました。



更に大興奮でした。その後も自分だけの空氣砲を作り、紙コッププロケットを飛ばしたり、地球防衛軍になりきり、怪獣の的当てを倒したりと、たくさん遊んで科学の不思議に触れて楽しみました。今回の科学教室の中でたくさん疑問や身近な物質に対しての興味を育てることができました。子どもたちの気付きを大切にしながら、普段の保育の中でも一緒に共感したり、楽しんだりすることで子どもたちの考える力の育ちへと繋げていきたいと思います。

(保育教諭 菊地 美香)

日中活動「プール」



七月二十日、一階テラスにてプールをしました。今年度初めてのプール遊びということで、朝から期待に満ち溢れています。うさぎ組さんは用意してもらった水着を着ると、友だち同士で「可愛いでしょ」と見せ合い、目を輝かせて楽しみにする姿がありました。テラスに行き、いざプールに入るときゃー」と叫びながら「冷たい」「気持ちいいね」と足や手で触れた水の感触を友だちや保育教諭に伝えて共有し合いました。子どもたちが好きなジョウロや水鉄砲を準備すると、友だち同

士で水をかけ合ったり、バタ足をしたりと一人一人が自由に遊びながらプールを楽しんでいました。水を怖がる子どもたちには保育教諭が側に付きながらシャワーを足からゆっくりかけ、個別でタライを用意して水に慣れる機会を設けたことで、最後には自分から水を浴びに来る姿が見られるようになりました。今年度は気温が高く、熱中症になる危険性もあった為、水分補給や活動時間に十分気を付けながら、夏ながらではの遊びを取り入れることで、夏を感じられるようにしていきました。

(保育教諭 佐々木 とわの)



お泊り保育



7月28日～29日に5歳児がお泊り保育を行いました。友だちや保育教諭と初めて一泊することに朝から期待と不安を持っている姿が見られました。科学館では、グループの友だちや、保育教諭と順番に回り、静電気のコーナーでは「なんで触った所に雷がくるのかな？」等と科学の不思議に触れながら、楽しそうに見て回る姿が見られました。園に戻ってからは、楽しみにしていたお弁当です。お家の人が心を込めて作ってくれたお弁当を友だちと見せ合いながら美味しく食べていました。夕食の餃子作りでは、具材を相談しながら作る姿があり、友だちを気に掛けながら作る姿に成長を感じました。自分たちで作ったことで「美味しい」「もっと食べたい」と、いつもよりもたくさん食べる姿が見られました。その後に行った宝探しでは、グループの友だちと協力して、自分の意見を伝えたり、友だちの意見に耳を傾け受け入れたり等、大きな成長を感じました。友だちと協力して見事に宝を発見することができ、子どもたちは達成感を味わうことができました。そして、宝箱の中からはお家の人の手紙が入っており、少し寂しくなりつつも、大切に読んでいました。たくさん遊び、一日目の夜はぐっすり眠りました。二日目の朝は、眼そうにしながらも自分たちで着替え、布団を畳むなど自発的に行う姿が見られ、サーキット遊びや、ドッジボール大会を楽しみました。お迎えが来てお家の人たちの顔を見て、安心した様子で、報告会ではたくさんの思い出を話していました。子どもたちの成長をたくさんみることができたお泊り保育でした。

(保育教諭 佐藤 郁)



七月二十三日に仙萩苑食堂にて、夏祭りが行われました。今年は縁日を企画し、射的・金魚すくい・輪投げ・お面くじの四種類を用意しました。残念ながらコロナ禍の為、御家族の参加は叶いませんでした。皆さん童心に戻って楽しい時間を過ごされていました。

記念撮影では打ち上げ花火の背景シートを使い、夏らしい映え写真をパチリ。職員は法被とお面を着用しました。記念撮影では打ち上げ花火の背景シートを使い、夏らしい映え写真をパチリ。職員は法被とお面を着用しました。記念撮影では打ち上げ花火の背景シートを使い、夏らしい映え写真をパチリ。

(生活支援員 内嶋 寿子)

夏祭り



仙萩苑



動物たちが可愛く描かれた絵に見えますが、こちら全て木で作られているんです。『木象嵌』という技術で、日本語の象（かたどる）・嵌（はめこむ）



*現在は「こどもえん」で制作しています



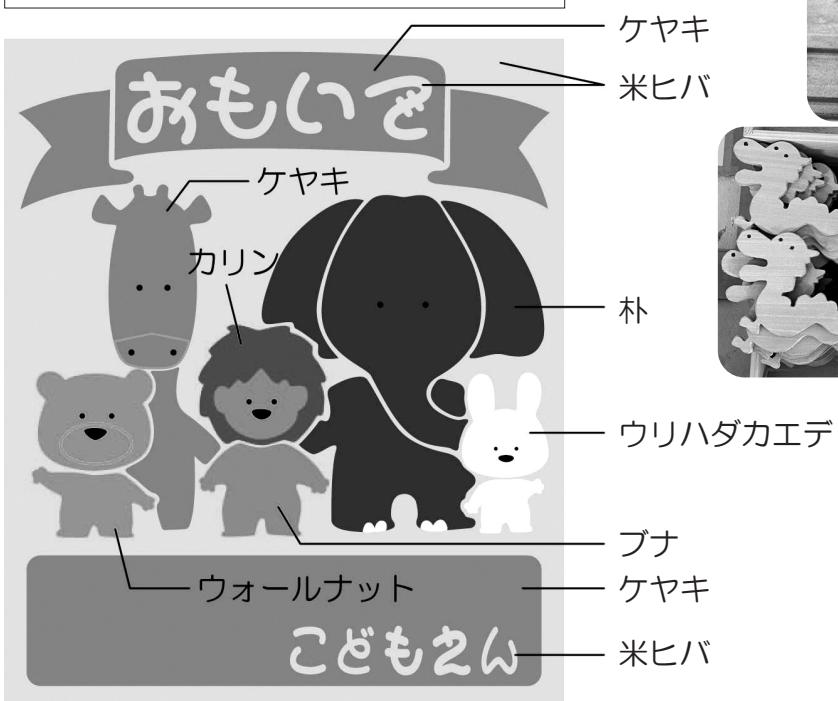
一寿園木工部門では毎年、同法人のこども園卒園式に向け、アルバム制作を進めています。今回はその卒園アルバムがどのように作られているのか紹介していきたいと思います。まずは表紙から。

木工「卒園」アルバム紹介①



の意味が語源だと言われています。木材を電動系鋸でくり抜いた所に、違う色の木材をパズルのように嵌め込んで、絵として仕上げています。細い文字の部分や、細かい動物の目鼻の部分もちゃんと違う色の木を嵌め込んで作っているんですよ。職人さん曰く、カットする時に、材料に引いた線の内側を切ったものと、外側を切ったものを組み合わせると、うまく嵌まるそうです。すごい技術ですよね、正に職人技！

表紙に使用している木の名前



裏面には卒園する年の干支と卒園児の名前が入ります。来年は辰年なので、龍たちがたくさんくり抜かれている途中でした。裏面デザインはまた次の機会に紹介できたらと思います。

木工部門では半年以上かけてコツコツアルバム制作を行っています。卒園児の皆さん的手元に届きましたら、是非じっくりと観察してみてください。大人の我々も羨ましく思ってしまうこのアルバム。記念の品になること間違いがないでしょう。

(職業指導員 渡辺 寿子)
わたなべ ひさこ

編集後記

広報すみよし第65号も何とか完成致しました。毎回ギリギリで完成に至りますが、切羽詰まる前に早めの行動を心掛けたいと思います(汗)